

**保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果
(公表)**

公表:令和 年 月 20日

事業所名 きつずあいらんど横浜鶴見教室

12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	0	とても広々としていて広さは十分だと思う	広さを生かしての活動を考案していく
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	0	1	しっかり見ていただける人数がいる	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2	0	3	教室が2階にあるがエレベーターがある	エレベーター乗降の安全に配慮する
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	1	0	0	保護者と本人の希望が記載されている	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	1	0	2	季節を感じられたり、楽しく取り組めるようなプログラムが用意されている	利用者様が無理なく楽しく参加できる内容を提供する
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	8		交流できる機会を設けたい
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1	0	1	契約時に詳しくお話が聞けた	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	2	0	0	送迎時や電話で様子や課題点など伝えていく	保護者様と、お子様の状況や課題を今後も共有する
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	0	0	0	定期的に面談・保護者の悩みは随時相談をしている	気になることがあればこちらからもお話を持ち掛ける

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	2	7	保護者会があると嬉しいが参加できるかはわからない
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	0	2	担当の職員がしてくれている
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	2	0	0	連絡帳や、送迎時、電話で逐一報告を受け、伝えている
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1	0	1	通信が発行されている
	14	個人情報に十分注意しているか	10	0	0	2	個人情報取り扱いの承諾書が用意されている
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	1	0	1	書面が配布された
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2	0	3	プログラムに避難訓練の日がある
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1	0	1	遊びながら他者とのコミュニケーションを学べるよう工夫されていて、楽しみながら通えている
	18	事業所の支援に満足しているか	10	1		1	ムラはあるが楽しく通っている

160 20 3 33

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 きっずあいらんど横浜鶴見教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	使う用途によって部屋を分けている	
	2	職員の配置数は適切である	6	1	利用者様の人数に合った配置をしている	配置数によって教室の使い方や活動内容を決める
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	視力や身体に不自由がある利用者様は必ずエレベーターを使用	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	振る帰りをもとに改善策の検討をしている	PDCAの意味から、取り組みについて職員の共通理解を深める為の研修を実施していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	アンケート結果をに職員に共有し、改善に向けミーティングで話し合っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	事業所で集計後、本社に報告。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	毎月研修を実施、議事録に記録	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	契約時に保護者と利用者本人に希望を聞き取り、計画書に反映させている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	イベント部が中心となって立案→見発管→本社に確認の上仕上げていく	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	支援に偏りが無いよう、話し合っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	支援時間や時期に応じて教室目標やお約束を決めている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	SSTが課題の利用者が多いので、グループで遊べる内容やプログラムを考案している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	朝ミーティングを毎朝実施	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	随時振り返りや改善策について話し合っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	業務日誌やリトムノートには、出来るだけ具体的に詳細を書くよう指導している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的に面談や電話でモニタリングの実施。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2	ガイドラインの確認、読み合わせ	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	管理者兼児発管が出席。持ち帰り、職員に共有し共通認識を図っている	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	学校の予定表は配布時にコピーを取らせていただいている		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5		対象となる児童の利用無し	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5	必要に応じて、電話や訪問で情報を収集	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	6	区の関係者会議や研修に出席している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	2	送迎時や電話、面談で共有	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5		来年度実施を検討中
保護者	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	4	契約時、なるべく詳細に説明	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	保護者からの電話や必要に応じて対面で相談を受けている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		

護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	苦情やご意見は真摯に受け止め、早急に改善。内容によっては本社に相談	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	イベント開催時や日々の活動の様子を通信にて発信	
	35	個人情報に十分注意している	6	1	個人情報の書かれたものは個別にファイルを作成、鍵付きの書庫に保管	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	悩みを抱えている保護者が多い為、傾聴を心掛けている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		招待するまでの環境設定が出来ていないため、まずは参加していきたい
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	書面を作成し、全員に配布。お問い合わせに対応
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	毎月避難訓練を実施	災害だけでなく、不審者対応の訓練もしていく
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待防止委員会・児発管主導で研修を実施	虐待が疑われる事態が起こった時には、事例検討などで対応や対策を共通理解
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	身体拘束についての研修あり	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	おやつを出す際にはアレルギーの記載を確認。疑われるものは完全除去	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	ヒヤリハット報告書のフォーマット、ファイルあり	